

学校法人高山短期大学
高山自動車短期大学
機関別評価結果

平成 27 年 3 月 12 日
一般財団法人短期大学基準協会

高山自動車短期大学の概要

設置者 学校法人 高山短期大学
理事長 中村 實
学 長 中村 實
A L O 桜井 克典
開設年月日 昭和 50 年 4 月 1 日
所在地 岐阜県高山市下林町 1155 番地

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
自動車工学科		150
	合計	150

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	自動車工学専攻	20
	合計	20

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

高山自動車短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成 27 年 3 月 12 日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成 25 年 6 月 17 日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は、自らの掲げる建学の精神にのっとり、教育方針を掲げ、その実現に向けて、理事長・学長以下教職員が一丸となって日々努力している。昭和 36 年発足の高山自動車高等整備学校からの歴史を持ち、昭和 50 年に高山短期大学（自動車工業学科）を「社会の要請に即応する人材の養成、実学」を期して開学した。建学の精神と教育理念の下に、教養と実務的な専門能力を有して社会の発展に貢献する人材の育成を目指した教育を展開している。

教学面においては、ほとんどの学生が寮生という特色を生かして、基礎学力に不安のある学生や入学後の学業不振の学生に対する学習支援に加え、教員が個々の学生に生活面も含めた指導を行っている。また、就職でも、地域の実態や学生の事情に合わせての全学的な指導体制で極めて高い実績をあげている。この教員の教育と生活両面での学生支援活動が、学生の諸問題を把握することに役立つと同時に、専任教員の教育活動や研究活動への意欲に結び付いている。また、教育の質保証のための学内体制を整備し、徹底した指導と改善による授業の質の向上を図っている。

教育課程については、教育目標や理念に基づいて適正に編成され、学習成果の判定基準も明確である。これは自動車整備士関連の試験合格を目標とするため、学習成果の達成度を測定しながら行うことと一致する。

実習科目が多くなることから少人数クラスで、学生一人ひとりに配慮した取り組みがみられる。また学業不振に悩む学生、経済的支援やメンタルヘルスクエアが必要な学生への支援体制も確立している。

教員組織、専任教員の職位、教員配置は適正であり、教員の任用と昇任も規程に基づいて行われている。入学定員に対して多い専任教員は教育活動に熱心であり、研究活動・地域貢献活動にも積極的である。

校地・校舎の面積等も短期大学設置基準を満たしており、授業実施に必要な講義室、演習室、実習室等、各教室の配置等も適正で、実習用機械器具・パソコン等の情報機器の配置や指導体制も充実しており、学生が日常的に学びやすい環境を整えている。

財的資源に関しては、中・長期財務計画を策定し適切に管理している。学校法人全体の消費収支は、平成 25 年度に収入超過に転じたが、短期大学部門は 3 か年連続で支出超過となっている。

理事長は学長を兼務し、理事会運営の円滑化を図るとともに、統括責任者として健全な学校法人の運営を常に心懸けている。また、学長としても教職員とのコミュニケーションの円滑化に努め、モチベーション向上に努めるなどリーダーシップを発揮している。

監事は毎年度監査報告書を作成し、理事会及び評議員会に提出するなど、監事としての任務を遂行し、評議員会は寄附行為に従って、理事長の諮問機関として適切に運営されている。さらに、法人に設置された「学校法人高山短期大学内部監査に関する規程」は、法人の管理・運営におけるガバナンス力ともなっている。

これら一連のことに對する自己点検・評価では、「自己点検・評価委員会」を設置し、教職員がその意義を共有して改革・改善に生かそうとする学内文化も醸成されている。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマ B 教育の効果]

- 授業内の教育に留まらず、ほとんどの学生が親元を離れてキャンパス内の学生会館に寄宿し、集団生活を送っている特徴を生かし、寄宿生活を介した礼儀作法、しつけや生活指導に専任教職員も積極的にかかわっている。また国際観光都市・飛騨高山の市民として、祭礼奉仕やインターンシップなどを通じた地域社会への貢献活動でも教育効果を高めている。

[テーマ C 自己点検・評価]

- 自己点検・評価の結果から、自動車整備業界における高度な板金・塗装を有する技術者養成の「車体整備コース」を増設するなど、入学希望者が増えた。また、社会科学・人文科学などの幅広い視点から自動車と社会の関わり方を学ぶ新設の「クルマと文化研究所」は、学生達の学習意欲を高めている。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 学生による学習成果アンケート等による学習成果の定量的評価、学習への意欲喚起のための欠席を減らす取り組み、全国各地に在住する地方事務所長による入学から就職までの支援体制など、教職員が協力しての学生支援制度が確立している。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ C 技術的資源をはじめとするその他の教育資源]

- 教室での理論と技術を実践的に修得できるよう「DIY (Do It Yourself : 学生専用自動車整備棟 [学生専用ピット])」が設けられている。ここは学生自らの車両を整備できる場で、整備機材や工具も使用できる。利用時には必ず担当教員が付き添い安全確保と指導助言が行われている。このように公道を走行する車両の整備の成功体験による自信は就業への不安軽減に役立っている。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

[テーマ A 理事長のリーダーシップ]

- 理事長・学長は毎朝の教職員ミーティングに参加するなどによって、日常的に教職員との意思疎通を図りながら、学校法人の運営に努めている。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果(合・否)と連動するものではない。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- FD 活動・SD 活動は各部署で実施しているが、FD・SD 活動に関する規程を整備することが望まれる。

[テーマ D 財的資源]

- 余裕資金はあるものの、短期大学部門の消費収支が3か年支出超過であり、財務体質の改善が望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

建学の精神には実学教育として自動車産業の基盤を支える高度な技術と幅広い教養を持つ自動車整備技術者の育成という形で教育理念・理想が明確にされ、学内外に表明されている。

自動車整備技術者の育成を目指す建学の精神に基づいた教育目的・目標も明確に示され、「社会に貢献し得る有為な人材を育成することを目的とする」と学則にも明記されている。また、自動車整備技術者としての知識・技術だけでなく、社会人としての礼儀作法などを身につけることの学習成果も明確に示されている。「機関（学科）レベルの学習成果」も建学の精神に基づいて具体的に明示されており、学内外に表明されている。

「学習成果アンケート」で、「科目レベルの学習成果」を5段階のグレードで定量的に評価している。また、学習成果と授業評価の相関を利用した「成績評価を介した学習成果」及び履修した教科目の成績評価に対してはGPAが導入されている。さらに「成績評価（優、良、可、不可）から判定される学習成果（教員が評価判定）」と、あらかじめ講義概要に明示し、アンケート調査により測定される「科目レベルの学習成果（学生が評価判定）」の二つの観点から学習成果を測定して定期的に効果を点検する仕組みが導入されている。この教育の効果としての学習成果は、二級自動車整備士登録試験の合格率、自動車整備関連業界への就職率、高山自動車短期大学後援会企業からの卒業生の情報・評価を基としている。また、「学習成果アンケート」から得られる「科目レベルの学習成果」を査定し、各担当教員へ結果が配付されて、学習の到達度等で教育改善も積極的になされている。「授業評価アンケート（授業改善のためのアンケート）」及び「学生満足度調査アンケート」も実施され、教育の向上・充実を目的としたPDCAサイクルが機能している。

自己点検・評価活動の実施体制は確立されており、建学の精神に基づく教育効果の向上・充実に向けた努力もされている。「自己点検・評価委員会規程」及び「第三者評価等に関する規程」が整備され、理事長・学長が委員長の自己点検・評価委員会も設けられ、教職員が分担して担当領域別に点検・評価が実施されるなど、自己点検・評価には全教職員が関与し、成果も活用している。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

学位授与の方針には、卒業の要件、成績評価の基準、資格取得の要件を明確に示しており、広く学内外に表明され、自動車工学の専門知識を学ぶという明確な目的・目標を有している。当該短期大学の特色である教養と優れた人格を持った人材の育成は、自動車産業界が要請する社会的通用性の高い人材育成と一致する内容となっている。

教育課程編成・実施の方針は、学位授与の方針に基づき、五つのコースが設定され、コースに必要な授業科目が体系的に編成されている。成績評価には、試験の成績（点数）、出席状況、受講態度、平常成績を加味した「総合評価」が用いられて厳格に適用されている。

入学者受け入れの方針は、詳しく「学生募集要項」に明示されている。入学前の学習成果の把握・評価については、学習成果に対応しており、受験生に対して「基礎数理課題」が送付され、入学前に獲得すべき数理的基礎の事前学習ができるようにしている。入学時には基礎学力試験が実施されて学力の把握を行っている。

学習成果としての「二級自動車整備士の資格を取得」は2年間の修学を前提として、期間内で獲得可能なものであり、二級自動車整備士の合格率及び自動車産業界への就職率により証明されている。「学習成果アンケート」及び「授業評価アンケート（授業改善のためのアンケート）」の結果から学習成果の獲得の状況を各教員が把握・認識し、授業・教育方法の改善が行われ、学習成果を達成するために組織的な支援と検討が行われている。

学習と生活支援では、ほとんどの学生が親元を離れて修学する特色ある短期大学のため「保護者向けガイダンス」を含めて、科目履修、学習の動機付けに観点が置かれたガイダンスを実施している。また、「入学試験奨学生制度」、「生活支援奨学生制度」、「経済支援奨学生制度」等の独自の経済支援制度が設けられて経済的支援を行っている。また、1年次から就職セミナーやガイダンス、企業の採用担当者を招いての業界研究など学生の就職意欲を高める工夫も行われている。

キャンパス見学会の参加者には教育内容の理解を深める目的で様々な体験実習なども実施し、さらに高大提携校へは出前授業を行うなどスムーズな連携を図っている。同時に全国8地区の拠点に地方事務所長（業界経験者）を配置し、入学から卒業までをサポートするという支援体制もとっている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

専任教員は短期大学設置基準に基づく専任教員数を充足する教員組織で編成されている。学科の教育課程編成・実施の方針に基づいた教育研究活動が行われ、学校教育法及び学校教育法施行細則に基づき、活動状況が公開されている。事務組織の管理及び運営は、「組織規程」及び「事務分掌」が整備され責任体制は明確であり、専門的な職能に基づき各部署に職員が適正に配属されて業務が遂行されている。防災対策に関しては、緊急連絡網として全教職員の連絡ネットワークが整備され、防火・消防体制も整えられている。さらに教員が事務部門を兼務する形態が取られており、事務関係部署との連携がスムーズとなっている。教職員の就業に関する「教職員就業規則」、専任教員の服務事項に関する「教員服務規程」、非常勤講師に関する「非常勤服務細則」など教職員の就業に関する諸規程が整備されており、休日出勤の振替休日の取得状況も適正である。FD・SD活動は実施されているが、FD・SDに関する規程等を整備することが望まれる。

校地・校舎の面積は短期大学設置基準を満たしており、運動場も有している。ほぼ全ての教室に視聴覚教育用機器が揃えられ、授業のための自動車整備関連の各種機器・備品は多岐にわたり、その質・量ともに学生数を考慮して備えられている。

学校法人高山短期大学の諸規程に基づき、各部署は備品管理台帳と現物の照合を行い、「経理規程」、「資産管理規程」、「図書館運営規程」、「諸施設使用規程」が整備されて施設設備の維持管理が行われている。

実験・実習の授業を行う実習棟は、国土交通省の認証を受けた自動車整備工場であり、認証基準に合致した設備機器が整っており、安全性に留意して機器の精度維持のため点検がされている。この他にモータースポーツを介した魅力ある実践教育の取り組みとしてモータースポーツテクノロジーセンター及びモーターサイクルテクノロジーセンターが学内に設けてあり、学生は授業または放課後などに使用ができる。また、学内にある三つの学生会館でも全ての居室にインターネット回線が敷設されて学生が利用できる状況にある。

財的資源に関しては、中・長期財務計画を策定し適切に管理している。学校法人全体の消費収支は、平成 25 年度に収入超過に転じたが、短期大学部門は 3 か年連続で支出超過である。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長・学長は創設の責任者として、建学の精神と教育方針を基本とした大学運営を常に心懸け、寄附行為に基づき開催される理事会と評議員会の運営を適切に行っている。また、日常的に大学関係者との円滑なコミュニケーションに努めて情報収集するなど、学校法人を統括する責任者としてのリーダーシップを発揮している。学則に基づき、原則月 1 回開催される教授会や委員会のもとより、毎朝の教職員ミーティングにも積極的に参加し関わる姿勢は、教育・研究や学生指導など多岐にわたる職務遂行を担う教職員の信頼感を得るとともに、教職員のモチベーションも高めている。さらに、教育の質保証に対しアンケートなどからの学生の声や評価を生かした授業改善に率先して取り組み、教員の教育力と学生の学習意欲向上に取り組んでいる。

監事は、寄附行為に基づいて法人の業務及び財産の状況について適宜監査を行い、監査報告書を作成・提出し、理事会、評議員会に出席して理事の業務遂行に対する意見陳述を行うなど監査を適切に行っている。

評議員会は寄附行為に従って適正な人数で組織され、理事長の諮問機関として適切に運営されている。

収支予算書、事業計画書は、評議員会に諮り、理事会で決定された上で、適切に執行されている。予算の執行状況も問題なく、途中経過及び結果は定期的に理事長・学長に報告されている。教育情報及び財務状況はウェブサイトで適切に公開されている。資産、資金の管理も法人財務部において適正に行われている。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

教養教育の取り組みについて

総評

建学の精神、教育目的・目標、学位授与の方針のすべてに教養教育の重要性が述べられており、「総合基礎」の開講科目群として、これらの科目を学ぶことにより、現代社会を様々な視点から捉え、心の豊かな創造性のある人材となることとして定められている。教養教育の目的・目標の中には、日々の学生生活における挨拶の励行などの礼儀作法の修得に加え、教員や友人との良好な人間関係や協調性の構築も含まれており、さらに国際観光都市・飛騨高山の市民として、祭礼奉仕やインターンシップなどを通して地域社会に貢献できる人材となることとして教養教育の目的・目標が明確にされている。

そのために教養教育の基礎となる知識面において総合基礎の分野を設け、様々な授業科目が開講されている。専門教育と同様に、この分野の重要性に鑑み、経験豊富で短期大学の教育方針を十分に理解した専任教員が担当している。授業内容に関しても、自動車工学を学ぶ学生を熟慮した内容になっており、総合基礎科目は1年次に開講し、高校教育と大学教育との連携を強く意識した授業が行われ、実施体制が確立されている。

このほかに、学生の90パーセント以上が親元を離れて暮らしており、そのほとんどの学生は学生会館に寄宿し、生活面においても、挨拶の励行から門限等、厳しい規律の下に管理運営されている。その中で、学生達は全国から集まった学生との交流を通して人間関係を磨き、社会生活を営むための基本を学んでいることから、訪れた企業の採用担当者や一般市民の方から学生が非常に礼儀正しいと称賛を得ている。

挨拶の励行は、日常の授業の中にも習慣として取り入れられており、教員から率先して学生に挨拶の声をかけることも、教養教育の一環として教職員が実施している。また、全国から集まった学生の交友関係は、社会人となっても価値のある絆が維持されており、地元からの通学生にとっても全国に友人ができ、様々な価値観の中で切磋琢磨して日常生活で学ぶことができる。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 建学の精神、教育目的・目標、学位授与の方針のすべてに教養教育の重要性が述べられており、教養教育の目的・目標の中には、日々の学生生活における挨拶の励行など礼儀作法の修得に加え、教員や友人との良好な人間関係構築や協調性の醸成が含まれてい

る。また、国際観光都市・飛騨高山の市民として、祭礼奉仕やインターンシップなどで地域社会への貢献ができる人材も教養教育の目的・目標に掲げられており、教育の基本となる人間教育が実践されている。

職業教育の取り組みについて

総評

職業教育を必修科目として授業の中に取り入れて就職支援・対策活動と有機的に連携し、自動車産業界への高い就職率という形で実績があげられている。

当該短期大学が目指す実学の本質は、学生時代に学んだことを職業につなげて役立てる能力を養うことであり、この目的の重要な役割を担う授業として、「ビジネス実務Ⅰ」と「ビジネス実務Ⅱ」が設定されている。

また、その内容には「就業支援教育」、「自動車産業界を支える自動車整備に関する技術者養成としての職業教育」、「教養ある人材育成」の三つが含まれている。

「就業支援教育」は、就職対策に関わる個別・具体的な就業支援教育であり、就職課に所属する教職員が担当し、就職希望地・希望就職職種など学生の個々の状況にあわせた情報提供、就職ガイダンス、企業説明会の開催、高山自動車短期大学後援会の運営、企業に関する具体的な情報提供及び指導などが行われている。また、就業意欲を喚起し、学生の就業力を高めるための教育は、学生全員にスーツ着用で臨むビジネスマナーの基礎から学ぶ「ビジネス実務Ⅰ」と、コンピュータの基本操作を習得する「ビジネス実務Ⅱ」の授業が担っているなど、職業教育の内容と実施体制が確立されている。

また、「自動車産業界を支える自動車整備に関する技術者養成としての職業教育」は、自動車整備技術教育を担当する専任教員が、教育課程に基づいて行っている。担当教員は日常的にビジネス実務の教授法について研究、実践し、その成果を研究会や学会などで発表し、論文としてもまとめている。共同研究の形で他大学の教員とも研鑽を深め、常に資質（実務経験）向上に努めている。

学生が社会人となる自覚を持ち、社会人となるための準備をすることの大切さを認識させて就学意欲だけでなく就業意欲を高めることが実学教育で謳われており、この成果は、「学生満足度調査アンケート」の中の、「高校時代に比べて、授業に取り組む姿勢は向上しましたか」、「高校時代に比べて、社会人としてのマナーは向上しましたか」という設問で高ポイントが常に得られていることに表れている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 自動車工学系の短期大学としての職業教育に、「就業支援教育」、「自動車産業界を支える自動車整備に関する技術者養成としての職業教育」、「教養ある人材育成」の三つの柱として捉えて教育が実施されている。

「就業支援教育」では、就職対策に関わる個別の具体的な就業支援教育が就職課に所属する教職員により実施されており、就職希望地・職種など学生の個々の状況にあわせた情報提供、就職ガイダンス、企業説明会の開催、高山自動車短期大学後援会の運営、

企業に関する具体的な情報提供と指導がなされている。また、就業意欲を喚起して学生の就業力を高めるための「ビジネス実務Ⅰ」と「ビジネス実務Ⅱ」の授業が実施されている。

「自動車産業界を支える自動車整備に関する技術者養成としての職業教育」では、自動車整備技術教育を担当する教員が、教育課程に基づいて行っており、学生が社会人となる自覚を持ち、社会人となるための準備をすることの大切さを認識させて、就学意欲だけでなく就業意欲を高める実学教育が実践されている。

地域貢献の取り組みについて

総評

充実した施設設備から、キャンパスの一般開放を行い、地域貢献が行われている。特に約 1000 席の大ホールを有する文化記念講堂は、コンサートや講演会など各種イベントが開催できる専用施設として、映像・音響・同時通訳設備などを備え、毎年、小中学校の教育機関から各種団体に至るまで幅広く開放されて利用されている。

また、図書館は、閲覧のみに限定し貸し出しは行われていないが、一般社会人に対して開放されている。このほかに図書館の 1 階に併設する飛騨自然博物館には多くの来館者があり、団体行事として小学校の遠足行事等に利用されている。

さらに 1 号館と 2 号館の講義棟は年 6 回、実用英語技能検定(英検)の試験会場のほか、各種資格試験会場として利用され、モータースポーツグラウンドも飛騨高山二輪災害レスキュー隊の技術習得練習会場として使用されている。

学生の祭礼行事へのボランティア活動という形でも地域貢献に取り組んでいる。高山祭への奉仕活動は高山市からの要請でもあり、春祭り(日枝神社例祭)の 4 月 14 日、15 日と、秋祭り(櫻山八幡宮例祭)の 10 月 9 日、10 日は市の文化財鑑賞日とし、休校日として、学生の積極的な参加が実施されている。

また、このほかに学生が観光産業(ホテル業界)で働きながら、マナーなど社会人として必要なことを学び、奨学金を受け取る「ワーキングスタディ」の制度がある。観光都市・飛騨高山ならではの、地の利が生かされており、人手が不足する観光産業への地域貢献になっている。インターンシップの授業の一環としても位置付けており、担当教員が企業との連携をとりながら、円滑に行えるよう支援している。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- キャンパスの一般開放が実施されている。特に約 1000 席の大ホールを有する文化記念講堂は、コンサートや講演会などの各種イベントの開催できる専用施設として小中学校の教育機関や各種団体に幅広く利用されている。また、図書館に併設されている飛騨自然博物館には多くの来館者があり、小学校の遠足行事にも利用されている。
- 学生の高山祭への奉仕活動が実施されており、高山市からの要請でもあり、春祭り(4 月 14 日、15 日)と秋祭り(10 月 9 日、10 日)には市の文化財鑑賞日として当該短期大学は休校日になっており、積極的に奉仕活動として地域貢献がなされている。

- 働きながら就学する「ワーキングスタディ」制度が設けてあり、学生が観光産業（ホテル業界）で働きながらマナーなどの社会人として必要なことを学び、奨学金（報酬）を受け取る制度が実施されている。観光都市・飛騨高山ならではの地の利を生かした取り組みであり、人手不足の観光産業への地域貢献になっている。